



大野小学校
学校だより
No.1
文責 前田

平成31年度スタートしました。

平成最後の年という大きな節目の年度に、大野小学校に校長として赴任しました前田洋志と申します。玉名市教育委員会に勤務時に、毎年学校訪問させていただき、子どもたちの瞳の輝きや先生方の一生懸命な姿に、感心しながら授業参観しておりました。それを支えておられるのは、地域や保護者の皆様であると思っています。この地域である大野小学校区、玉名市を誇りにもって大切に思う心を育てながら、学校教育目標にあります「夢に向かって挑戦する児童」の育成に励みます。

お子さん一人一人が、明日の日本を支えるかけがえのない「日本の宝」です。第一に、お子さんの幸せを願ってやみません。この目まぐるしく変化している社会を生き抜くためには、「元気に」「人とうまく付き合っていける」「自分の力で生きていける」ことが必要です。一言で言えば、「自立」できることとなります。この「自立」を

促していくことができるように努力したいと考えています。

どうぞ、よろしくお願ひします。

本年度の本校職員です。



(金栗?) 四三さんを迎えました。

桜の花が舞う4月9日は本年度の入学式でした。前日は5、6年生が、当日は、2〜4年生まで加わって、迎える準備を頑張っていました。

そして、当日、新一年生43名を迎えました。現在放映中の大河ドラマ「いだてん」の主人公で玉名市の名誉市民でもある金栗四三さんのお名前と同じで、

藏原玉名市長様による黄色の帽子の贈呈がありました。



不思議な縁を感じました。担任から一人一人名前を呼ばれて、「ハイ」と元気よく返事ができていました。

一年生は、「歩いて登校する」「時間に合わせて行動する」など、初めて経験することが多くあります。少しずつ学校に慣れていくことは、自立へ向かうこととなります。みんな、一年生の頑張りを応援していきたいですね。

防災月間(4月)です。

熊本地震から三年が経ちました。私も熊本市在住でしたので、車中泊をしながら家族の命を守ったことを思い出します。

さて、学校はお子様の命を預かる場所です。年度当初に、避難訓練や交通教室を開いて、子どもたちの危機意識を高めていきます。ご家庭でも、お子様との話題にさせていただけると一層効果的です。よろしくお願ひします。



大野小学校
学校だより
No. 2
文責 前田

練習の成果を出し切り、
きずなを深めよう
これぞ太陽っ子魂

いよいよ、明日が運動会です。児童会では、「練習の成果を出し切り きずなを深めよう これぞ太陽っ子魂」というテーマを設定して取り組んできました。計画委員会や赤白団長を中心とした応援団、そして、何よりも6年生の全員がリードして、テーマの達成を目指しています。それに応えようとする1〜5年生の瞳の輝きにも、喜びを感じています。運動会も学習の一環ですので、ちゃんとねらいがあります。学習指導要領にも明記されていますが、それを踏まえて、私は、運動会の取組とおして、次のような力を身につけてほしいと願っています。



応援団の練習にも熱がこもっています。

① 勝利を目指して、全力を尽くす。

運動会は、集団で勝敗を競う体育的行事

③

高学年が運動会を運営していくことに誇りをもつ。高学年は、競技だけでなく係の役割を担って運動会を運営します。係あつての運動会です。お子

②

集団行動、協調の大切さを体得する。集団行動では、人に合わせること、周りに配慮しながら行動することを学びます。それは、人とうまく付き合っていくことにもつながります。これからのお子さんの人生にとって大切な学びです。

ですから、勝利にこだわる強い気持ちをもつてほしいです。オリンピックやスポーツ大会でみんなに感動を与えるのは、勝利を目指して不利な状況でもあきらめず全力で戦う選手の姿があつたからです。但し、勝敗だけにこだわると不正行為や優越感・劣等感を助長することにもなります。正々堂々と戦うこと、勝敗の結果を受け入れることも同時に学び、成長してほしいです。

「環境が人を育てる」
PTA作業ありがとうございました。

さんの出場する種目だけでなく、係の仕事も立派に果たしている姿も見てほめてあげてください。この3点が達成できるような、ご家庭でもお子さんに励ましの言葉等のご支援をいただけるとありがたいです。



とても爽やかな場所になった運動場北側

5月12日のPTA作業には、高学年児童と多くの保護者の皆様の参加をいただきました。大変ありがとうございました。除草や樹木の剪定により、学校が一気に明るく整えられました。

さらに、驚いたことに当日参加できなかった方が別日に作業される姿も結構あり、頭が下がる思いがしました。

子どもの成長は、育つ環境に大いに影響されます。美しい環境に育った子は、それが当たり前だと感じ、整理整頓に心がけます。美しい言葉を使う環境に育った子は、乱暴な言葉遣いをしなくなります。美しい音楽につつまれて育った子は、自然とよい音楽をたしなむようになります。よい本に出会ったりよいテレビ番組を視聴したりすることで、かしこく心豊かになっていきます。

学校でも、よい環境づくりに努めていかねばなりません。が、この作業のおかげで大きく一歩踏み出せました。